



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社G S I クレオス 上場取引所 東
 コード番号 8101 URL https://www.gsi.co.jp
 代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員（氏名）吉永 直明
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 経営企画部長（氏名）足立 豊士 (TEL) 03-5418-2122
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	84,417	6.0	1,764	△2.3	2,017	20.2	1,347	8.9
2025年3月期中間期	79,652	12.4	1,805	4.8	1,678	△6.9	1,237	△4.6

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,573百万円(△38.4%) 2025年3月期中間期 2,555百万円(25.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	109.77	—
2025年3月期中間期	100.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	83,815	30,512	36.4
2025年3月期	79,965	30,086	37.6

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 30,512百万円 2025年3月期 30,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	97.00	97.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	0.3	3,200	8.5	3,200	25.6	2,400	1.8	195.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	12,629,942株	2025年3月期	12,629,942株
2026年3月期中間期	348,197株	2025年3月期	356,584株
2026年3月期中間期	12,276,963株	2025年3月期中間期	12,269,809株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
3. (参考) 海外売上高	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続く中、緩やかな回復傾向で推移いたしました。その一方で、米国の通商政策動向、中東をはじめとする不安定な国際情勢の長期化、中国の景気停滞の継続など、世界経済を見ると依然として先行きが不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループは2031年の創立100周年に向けた長期ビジョンの第2フェーズとして中期経営計画“GSI CONNECT Phase 2”(2025-2027)を本年度より始動しました。「創造と刷新を続ける類いなき事業創造型商社」を目指し、企業価値の向上に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は、前年同期比4,765百万円、6.0%増収の84,417百万円となりました。売上総利益は、前年同期比415百万円、4.9%増益の8,982百万円となり、営業利益は、前年同期比41百万円、2.3%減益の1,764百万円となりました。これは、第1四半期連結会計期間において特定の取引先に対する貸倒引当金繰入額を計上したことによるものです。経常利益は、前年同期比339百万円、20.2%増益の2,017百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比109百万円、8.9%増益の1,347百万円となりました。年間の業績予想に対しては、すべての項目において当中間連結会計期間までの進捗が想定を上回っており、順調に推移しております。

② セグメント別の状況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<ファイバー>

主要商材のインナー用機能糸・生地が取引が、堅調な最終製品の需要を背景に伸長したことなどから、売上高は前年同期比10.2%増収の50,995百万円となったものの、第1四半期に計上した特定の取引先に対する貸倒引当金繰入額の影響により、営業利益は前年同期比53.6%減益の156百万円となりました。

<アウター>

米国向けの生地輸出販売および製品のOEM・ODM取引が堅調に推移しました。加えて、不採算事業からの撤退が進んだこと、前期に買収したトリアセテート繊維事業の本格稼働が始まったことなどから収益が向上し、売上高は前年同期比40.0%増収の12,680百万円となり、営業利益は前年同期比7.4%増益の652百万円となりました。

<インナー>

猛暑により機能素材インナーやブラトップといった夏物商品の需要が堅調に推移したものの、ランジェリー関連は需要減となり、売上高は前年同期比16.7%減収の5,672百万円となりました。一方で、原料価格の高騰による原価の増加への対応が進み、営業利益は前年同期比93.2%増益の238百万円となりました。

<セミコンダクター>

中国製ウェハの取引は堅調に推移したものの、継続する米国の対中半導体輸出規制に加え、一部取引における商流変更の影響などもあり、売上高は前年同期比54.6%減収の2,717百万円となり、営業利益は前年同期比89.1%減益の35百万円となりました。

<ケミカル>

海外向けの塗料原料や機能性樹脂およびフィルムの取引が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比5.9%増収の7,065百万円となり、営業利益は前年同期比11.0%増益の453百万円となりました。

<ホビー&ライフ>

化粧品原料の取引は、主要な基材の価格改定による収益改善に加え、それらの販売が堅調に推移しました。しかしながら、ホビー関連の取引が低調に推移したことなどから、売上高は前年同期比12.5%減収の2,415百万円となり、営業利益は前年同期比23.9%減益の223百万円となりました。

<マシナリー&イクイップメント>

理化学関連装置の取引は低調に推移したものの、複合材関連装置販売等の大型案件があったことなどから、売上高は前年同期比37.2%増収の2,870百万円となり、営業利益は前年同期比892.7%増益の224百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、売上債権の増加などにより、前期末比3,849百万円増加の83,815百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比3,424百万円増加の53,303百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益による株主資本の増加やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末比425百万円増加の30,512百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは4,273百万円の収入(前年同期は4,240百万円の収入)となりました。主な要因は仕入債務の増加などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,647百万円の支出(前年同期は246百万円の支出)となりました。主な要因は連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは2,464百万円の支出(前年同期は3,907百万円の支出)となりました。主な要因は配当金の支払などによるものです。

これらに換算差額による減少額120百万円、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額111百万円を加味した結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前期末比151百万円増加の8,146百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、期初公表の業績予想に対し、すべての項目で標準進捗率を上回る結果となりました。一方で、米国の通商政策や今なお混迷を極める中東情勢など、地政学リスクを含む先行き不透明な状況が続いております。

このため、2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)につきましては2025年5月15日公表の業績予想を変更しておりません。今後の業績動向などを踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,994	8,146
受取手形	954	701
売掛金	35,578	39,032
電子記録債権	3,050	3,321
商品及び製品	15,449	14,295
仕掛品	1,521	2,174
原材料	461	371
その他	3,803	2,670
貸倒引当金	△226	△206
流動資産合計	68,587	70,508
固定資産		
有形固定資産	2,945	3,412
無形固定資産	434	552
投資その他の資産		
投資有価証券	5,978	7,170
その他	2,019	2,172
投資その他の資産合計	7,998	9,342
固定資産合計	11,378	13,307
資産合計	79,965	83,815
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,094	32,498
電子記録債務	829	888
短期借入金	12,095	10,677
1年内返済予定の長期借入金	42	21
未払法人税等	564	566
引当金	1,174	661
その他	5,966	3,694
流動負債合計	46,767	49,006
固定負債		
長期借入金	1,014	1,005
退職給付に係る負債	722	618
その他	1,374	2,672
固定負債合計	3,111	4,296
負債合計	49,879	53,303

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	876	877
利益剰余金	17,842	18,034
自己株式	△280	△273
株主資本合計	25,624	25,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,968	2,862
繰延ヘッジ損益	2	25
為替換算調整勘定	2,455	1,768
退職給付に係る調整累計額	34	31
その他の包括利益累計額合計	4,461	4,688
純資産合計	30,086	30,512
負債純資産合計	79,965	83,815

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	79,652	84,417
売上原価	71,085	75,434
売上総利益	8,566	8,982
販売費及び一般管理費	6,760	7,218
営業利益	1,805	1,764
営業外収益		
受取利息	51	57
受取配当金	95	131
持分法による投資利益	—	36
為替差益	—	114
その他	100	60
営業外収益合計	247	400
営業外費用		
支払利息	153	107
持分法による投資損失	23	6
為替差損	171	—
その他	25	33
営業外費用合計	374	147
経常利益	1,678	2,017
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	97	194
関係会社清算益	14	—
事業撤退損失引当金戻入額	—	61
特別利益合計	112	256
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事業撤退損失	—	14
特別損失合計	0	15
税金等調整前中間純利益	1,790	2,259
法人税、住民税及び事業税	471	570
法人税等調整額	81	341
法人税等合計	552	911
中間純利益	1,237	1,347
親会社株主に帰属する中間純利益	1,237	1,347

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,237	1,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	368	893
繰延ヘッジ損益	△108	23
為替換算調整勘定	1,068	△686
退職給付に係る調整額	△11	△3
その他の包括利益合計	1,317	226
中間包括利益	2,555	1,573
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,555	1,573

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,790	2,259
減価償却費	167	224
のれん償却額	46	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	57
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△21	△132
受取利息及び受取配当金	△147	△188
支払利息	153	107
為替差損益(△は益)	6	△14
有形固定資産除却損	0	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△97	△194
関係会社清算損益(△は益)	△14	—
事業撤退損失引当金戻入額	—	△61
事業撤退損失	—	14
売上債権の増減額(△は増加)	991	△5,923
棚卸資産の増減額(△は増加)	△110	484
その他の資産の増減額(△は増加)	547	877
仕入債務の増減額(△は減少)	1,913	8,106
その他の負債の増減額(△は減少)	△364	△784
その他	△209	△75
小計	4,640	4,755
利息及び配当金の受取額	142	192
利息の支払額	△153	△107
法人税等の支払額	△388	△566
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,240	4,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△500	—
有形固定資産の取得による支出	△18	△119
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△53	△2
投資有価証券の売却による収入	171	259
出資金の売却による収入	—	0
関係会社清算結了による収入	212	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,559
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△0
貸付けによる支出	△34	△44
貸付金の回収による収入	6	14
その他	△30	△196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246	△1,647

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,734	△1,127
長期借入金の返済による支出	△55	△55
リース債務の返済による支出	△98	△91
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,018	△1,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,907	△2,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	210	△120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	296	40
現金及び現金同等物の期首残高	10,346	7,994
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	111
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,642	8,146

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコン ダクター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	46,278	9,055	6,809	5,987	6,669	2,760	2,091	79,652	—	79,652
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6	1	0	—	5	0	0	13	△13	—
計	46,285	9,056	6,809	5,987	6,674	2,760	2,091	79,665	△13	79,652
セグメント損益	336	607	123	328	408	293	22	2,120	△314	1,805

(注) 1 セグメント損益の調整額△314百万円には、セグメント間取引消去64百万円、各報告セグメントに配分しない
 全社費用△379百万円が含まれております。

2 セグメント損益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコン ダクター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	50,995	12,680	5,672	2,717	7,065	2,415	2,870	84,417	—	84,417
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6	△0	0	3	7	0	0	18	△18	—
計	51,002	12,680	5,673	2,721	7,072	2,415	2,870	84,436	△18	84,417
セグメント損益	156	652	238	35	453	223	224	1,984	△220	1,764

(注) 1 セグメント損益の調整額△220百万円には、セグメント間取引消去208百万円、各報告セグメントに配分しない
 全社費用△429百万円が含まれております。

2 セグメント損益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. (参考) 海外売上高

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	46,425	6,654	2,712	55,792
II 連結売上高				79,652
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	58.3	8.4	3.4	70.0

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	51,148	2,953	2,233	56,335
II 連結売上高				84,417
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	60.6	3.5	2.6	66.7

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

米州・・・・・・アメリカ、ブラジル

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。